学科 学年	C2	科目 分類	化学III Chemistry III	講義/実験 必修	H22 前期 1単位	学習教育 目標 2	担当	小林 美学 KOBAYASHI Migaku

概 要	物質を処理し、化学現象を探究することによって、これらに関する基本的な事実、概念などを論理的、系統的に理解させ、化学の見方、考え方をかん養し、広く自然の諸現象を科学的に理解させるようにする。化学I I では、単体や化合物の性質，気体の扱いに関する学習に重点を置き、化学IIIへ引き継ぐ。実験を通じ、これらの事項の理解を助ける。
科目目標 （到達目標）	元素とその化合物、有機化合物について、基本的な知識を身につけ、活用できる。気体の振るまい、溶解について理解し、計算できる。
教科書 器材等	化学I, 化学II 検定教科書 数研出版， リードα化学I+II 数研出版，実験を安全に行うために 化学同人
評価の基準と 方法	定期試験（確認試験を含む）を80％、小テストを20%で評価する。ただし課題の未提出は2回目から減点する。
関連科目	習得前提科目として「化学I」，科学的な物の見方を涵養する科目として「物理I」および「生物」、継続科目として「化学III」

授業計画

	参観	（授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。）
第 1回		ガイダンス， 溶液 溶解のしくみと溶解度
第 2回		遷移元素とその化合物
第 3回		化学反応の速さと化学反応のしくみ 反応条件と化学反応の速さ
第 4回		化学反応の速さと化学反応のしくみ 化学反応の進み方
第 5回		化学平衡 可逆反応と化学平衡
第 6回		化学平衡 平衡状態の変化
第 7回		◆ 実験 化学反応の速さ
第 8回	×	前期中間試験
第 9回		化学平衡 電解質水溶液の化学平衡
第10回		化学平衡 電解質水溶液の化学平衡
第11回		粒子の結合 化学結合
第12回		物質の三態 拡散と粒子の熱運動
第13回		物質の三態 三態の変化
第14回		物質の三態 物質の融点・沸点などの性質
第15回		溶液 希薄溶液の性質
第16回		溶液 コロイド溶液
第17回	×	前期期末試験
第18回		
第19回		
第20回		
第21回		
第22回		
第23回		
第24回		
第25回		
第26回		
第27回		
第28回		
第29回		
第30回		
第31回		
第32回		

オフィス アワー	月曜日 16:00-17:00
授業アンケート への対応	・ 基礎的事項の定着度を図るため，定期試験の一部に，以前の試験範囲の一部を含める。 ・ 授業時間内に十分な実験時間を確保できないため，希望者を対象とした実験を実施する。
備 考	
更新履歴	20100325 新規